



CCC学生スタッフによる



地域に根ざし、世界に開く



コラボ通信

第18号
2009年1月19日

目次

小学校英語活動サポート、始めました！！	1
愛知教育大学＆愛知淑徳大学 情報保障活動交流会	2
知りたい・やりたい・使いたい 手話 de ランチ インタビュー	3
身近な地域での！★ボランティア活動★	4～5
☆ボランティア活動報告☆ ～長久手キャンパス編～	6
～星が丘キャンパス編～	7
国際交流会@長久手 CCC 開催しました～！	8

CCC は地域と連携し、学生の思いや成長を応援する教育機関です。地域、社会、世界の人々と出会い、協働することで、大学で学んだ知識を活かしたものにしていけるようにサポートしています。これまでに、多くの学生がCCCを通して地域に飛び出し、NPOや市民団体、企業などと連携して共に活動しています。

小学校英語活動サポート、始めました！！



2008年11月より、英文学科の学生8名が日進市立相野山小学校で英語活動授業のサポートを始めました。相野山小学校では、1年生から6年生まで月に1回ALT (Assistant Language Teacher) の先生による英語活動授業が行われています。学生達は、その授業の中でアクティビティの補助をしたり、授業が理解できていない様子の子に声をかけたりしています。月に1回の授業サポートの他に、月に数回打ち合わせを行い、皆で試行錯誤しながら活動を進めています。

英文学科の先生方と教材を検討中・・・



ALT の先生による英語活動風景

学生によるサポート風景



参加している 学生の声

英文学科3年 松島千恵さん

私はこの活動に参加させて頂けて、良かったと実感しています。実際小学校へ訪問すると先生方の意向を軸として活動する事が難しく、現在もグループの仲間と自分達のあり方について奮闘中です。英語活動サポーターという立場で学校に関わることで、少しずつ視点を変えて物事を考えることができるようになってきました。是非子ども達に英語の楽しさを伝えていきたいです。

英文学科2年 末松法子さん

普段の大学生活とは違い「教える・サポートする」立場になり難しさを実感しました。しかし、実際の授業に参加できるのはとても貴重な体験で、とても楽しいです。今は、教材の展示会に行ったり、打ち合わせをしたりしながら、どうしたら小学生が英語に興味を持ってくれるかを考えています。これからも続けていきたいです。



愛知教育大学&愛知淑徳大学



情報保障活動交流会



昨年12月10日に両大学のパソコンテイク・ノートテイクボランティアを行っている学生を中心に情報保障活動に関わる学生交流会を行いました。

情報保障って何？

「**情報保障（聴覚保障）**」とは、授業を聞く権利、授業に参加する権利を保障する取り組みのことです。例えば、聴覚障がいのある学生に対する情報保障には、ノートテイクや手話通訳などの手段を用います。

愛知淑徳大学では、手書きによるノートテイクを行っており、2008年度後期は、20名の学生が長久手キャンパスにて活動しています。近年、各大学にてこのような情報保障活動が活発に行われています。

ノートテイクとパソコンテイクの違いは？

ノートテイクとは…先生が授業で話す内容を筆記で書くこと。

パソコンテイクとは…先生が授業で話す内容をパソコンで入力すること。

現在、**愛知教育大学**では**パソコンテイク**が、**愛知淑徳大学**では**ノートテイク**が行われています。



交流会に参加した学生の感想

現代社会学科 2 年

荒川真依さん

今回、愛知教育大学の方々と交流会をして、本格的な情報保障について自分の考えは甘かったのではないかと考えさせられました。私は以前からボランティアに興味があり、ノートテイクを始めて1年にもなるのに今回の交流会で気づかされたことがたくさんありました。

私が今回の交流会で一番印象に残ったことは愛知教育大学の聴覚障がいのある学生さんのお話でした。その方は、“みなさんは僕たちに、パソコンテイクに変わった感想を求めてくるけど、僕たちもわからないことはわからないから、淑徳の聴覚障がいのある学生さんたちの気持ちを考えてあげてほしいです。”とおっしゃっていました。

私はその言葉にすごく考えさせられました。ノートテイクをしていて、“伝える”ことの大切さ、“伝わる”ことの嬉しさ、など生きていくうえで、すごく大事なことを気づかされたはずなのに、私はノートテイクをやっている上で、聴覚障がいのある学生さんの意見をあまり聞いていなかったし、コミュニケーションを積極的にとっていなかったと思いました。それこそがノートテイクをしていく上で一番大切な“伝える”部分であるにもかかわらず、そこがずっと欠けていたのかもしれないと感じました。そのことを大切にやっていけば、情報保障では難しいその場の雰囲気や人々の表情を伝えることが容易なのではないかと思いました。すごく当たり前のことなのですが、その当たり前のことを忘れてしまうことが多く、それは日頃の生活でもいえると思います。今回の交流会を通して、また成長できたと思っています。そういう場があること、参加できること、本当に心から感謝しています。



本学で行う手書きによるノートテイクには限界があり、耳からの情報量を100とすれば、ノートテイクで伝えられる情報量は20～30だと言われています。ところが、この“パソコンテイク”を用いると80～90をカバーすることができると言われています。

今後、本学でもパソコンテイクの導入を視野にいられているそうです。もしパソコンテイクを本学にも導入したら、今のノートテイクよりもたくさんの情報を聴覚障がいのある学生さんたちに伝えることができるのではないのでしょうか。そう思うと嬉しいです。

知りたい・やりたい・使いたい 手話deランチ インタビュー

手話 de ランチとは・・・ランチをしながら毎週異なるテーマで手話を楽しく勉強する会です！



今回は「手話 de ランチ」に参加している文学部 2 年の井上幸子さんにインタビューさせていただきました。素朴な疑問・質問をぶつけ、すべて本音で話していただきました。最後には今後の「手話 de ランチ」の告知もあります♪



インタビュー

～図書館情報学科 2 年の井上幸子さんに聞きました～



Q1. 手話を始めたキッカケはなんですか？

A1. 始めたキッカケは高校時代に放送されていたテレビドラマ「オレンジデイズ」を見て興味を持ったことです。

Q2. では、「手話 de ランチ」に参加していてよかったと思うことを聞かせてください。

A2. いろんな学部の人と交流ができることです。参加者の中には、小学生以来の思わぬ再会をした人もいました。そして、みんなで一緒に上達していくのが楽しいです！

Q3. 始めてみて気がついた点・分かった点などありますか？

A3. 「本」は（両手を本にみたく）“合わせた両手のひらを開く動作”など、手話は身近なことで表せます。また、“うちわで顔をあおぐ様子”で表す「暑い」は「夏」という意味もあるなど、1つの手話で様々な意味を持っているものもあります。そのため、前後の文脈や話し手の口元・動作を見て読み取るのが頭はもちろんのこと、非常に目を使い集中力を必要とします。

Q4. お気に入りの手話の表現はありますか？

A4. 自分の名前「幸子」を表現する際に使う、「幸せ」です。
「好き」という表現も好きです。

「幸せ」の手話表現 →



右手の親指と他の指を開いてあごにあて、あごをなでるように2回繰り返す。

Q5. 手話での豆知識などあったら教えてください。

A5. 実はあまり知られていないのですが、手話は国によって表現の仕方が異なります。先ほど言った通り、手話は身近なことで表現をします。そのため国によって習慣や文化が違うので表現の仕方も変わってきます。手話は世界共通ではないのです！

Q6. 今後、手話をどのように活用していきたいですか？目標などあったら教えてください。

A6. 手話にも検定があるのでそこを目標とし、今後、さらに活動範囲を広げて行きたいと思っています。手話をきっかけにして、その先にある聴覚障害がいについての問題を考えていけたらいいです。

Q7. 最後に！今後、「手話 de ランチ」に参加したいと思っている人に対して何かコメントを下さい。

A7. 予約不要で当日飛込みも OK です。テーマは毎週違うので常に新鮮♪少しでも興味がある人は是非来て下さいね！興味のあるテーマだけの参加でもいいですよ！



告知！！
次回は4月の予定です！
ご期待ください☆

ちょっとでも興味を持った方は・・・

- 毎週水曜日
- 12:30～13:00
- 長久手 CCC

に来てね♪

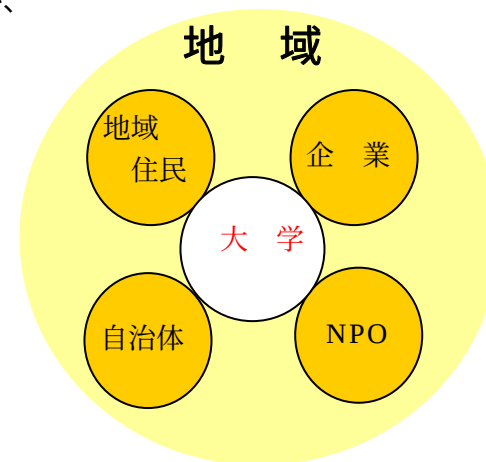
身近な地域での！★ボランティア活動状況★

私達が住んでいる地域はどんな地域か考えたことはありますか？
高齢者が多く、何代にも渡ってその土地で暮らす人が多い地域でしょうか、それとも新興住宅街で移住者が多い地域でしょうか？

自分とは深い関係がなさそうな「地域」ですが、「今の自分」の姿は、実は「自分が育った地域」と大きく関わっています。
小さい時に友達と集って遊んだその場所や関わっていた人達も気付かない間に今の自分を育ててくれていたんですよ♪

今、地域では色々な問題に直面しています。
子ども達が安心して外で遊ぶことができなかったり、
高齢者が独りで不自由な生活を強いられる状況であったり。
それでも、ほんの少しの優しさや協力で、状況の改善につながります。

地域住民の笑顔はその地域を元気にします！
そして今、その地域を創り上げる一員として、みんなの笑顔づくりのお手伝いをしてみませんか。
名古屋市千種区、名東区・長久手町では多くの活動先（地図★）でみんなが活躍しています！
（^o^）／



医療福祉

デイサービスセンターなどでの
高齢者の外出支援のお手伝いやレク
リエーションの企画・運営のお手伝い。
障がい者の方との交流を図ります。



利用者さんと
外出先での記念撮影

デイサービスセンター「極楽苑」で
寄席をしてきた赤福君（通称）の感想です！

コミュニケーション心理学科1年 森 靖博さん

中学2年生のときから「お笑い番組」が大好きで、「みんなにも笑うことの素晴らしさを体感してもらいたい！」と感じ、「落語」というものにたどり着きました。そして大学生になった私は、これまでの経験を活かして、落語をもっと地域に広めていきたいと思うようになり、極楽苑での活動を始めました。

初めて伺ったときは、緊張も不安もたくさんありましたが、お客様の笑い声、それが生み出すやわらかい空気に包まれると、最後は楽しい気持ちでいっぱいになりました。

「笑い」は人類の宝だと私は信じております。それをもっと他の方々にも身をもって感じてもらいたいと思います。まだまだ未熟者ではありますが、今後は、老若男女を問わず皆様が心から笑える「落語」ができることを目指しながら、極楽苑だけでなく、子どもたちや他大学の学生さんたちにも落語を広めていけるような活動をしていきたいと考えております。



子育て支援

子ども達が安心して遊べるように各地域には児童館があります。その児童館での企画・運営を行います。
保育園児のお散歩引率、発達障害児、知的障害児との交流。



クラフト教室開催♪



小学生とのまち歩き

国際交流

外国からの
研修員との交流。
在住外国人への日本語教室など。



JICA 外国人研修員との
ゴミ拾い

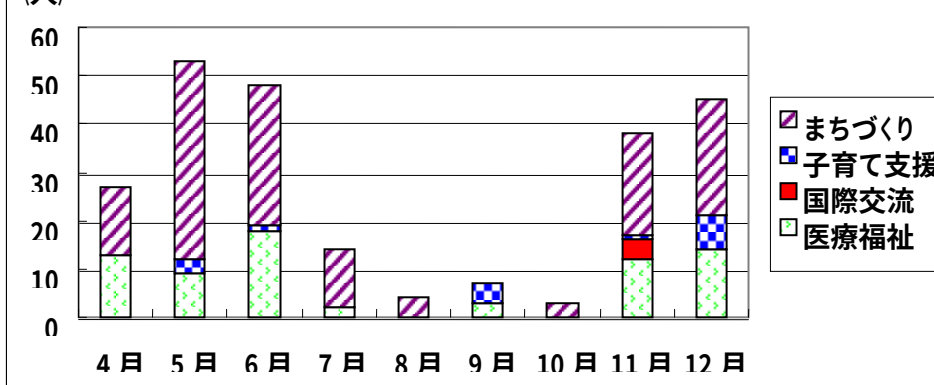


日本語教室の参加者と一緒に！

● 愛知淑徳大学キャンパス
★ ボランティア活動先



(人) 身近な地域での！ボランティア活動参加状況(2008年)



CCC を通じてのボランティア参加は、4月から12月で計590人です。その内、大学近隣（名古屋市千種区、名東区・長久手町）での活動に参加した学生は239人です！

ボランティア活動先からは「ありがとう。」

本当に助かります！」との声！

あなたも是非、地域にでて参加してみませんか？



住民の方との清掃活動

地域に根ざし、世界に開く



ボランティア活動報告



長久手キャンパス

「障がい者スポーツセンター卓球大会」運営サポート (2008.11.23 参加)

**ビジネス学科1年 石川貴裕さん**

私は11月23日に行われた障がい者の卓球大会の運営ボランティアに参加しました。友人からの誘いが参加のきっかけで、とても貴重な経験ができ、参加してよかったと思います。私は当日視覚障がい者が参加する「サウンドテーブルテニス」の補助をしました。「サウンドテーブルテニス」はゲームセンターにあるエアホッケーを思い浮かべてもらうとわかりやすいと思います。そこで補助をやっていて驚いたことがいくつかあります。一つ目は、玉のスピードがとてもはやいということです。障がい者の方はボールの転がる音のみでラリーをするのでゆっくり打ちあうものと思っていたのですが、私が打つよりも速く打つ人もいてとても驚かされました。2つ目は視覚障がい者の方が引率者や補助が無くても、自分自身で行動されていたことです。その姿を見てとても驚きました。後で聞いた話では、視覚障がい者の方は館内の構造を覚えているので一人で行動ができるそうです。今回のボランティアでは今まで持っていた障がい者の方に対する認識がいろいろ変わりました。これからは何に対しても先入観を持たずに新たな気持ちで障がい者の方と触れ合いたいと思います。

在住外国人日本語学習サポート in IT企業

**現代社会学科3年 櫻井啓二郎さん**

週に一度、IT企業の中国人社員に日本語を教えるボランティアをしています。このボランティアを始めた当初は、授業のテーマが自由だったということもあり、どんなことを教えればよいかまったくわからず、簡単な文法の本を毎回進めていくというやり方で授業を組み立てていきました。しかし、日本語をわかりやすく相手に伝えるということが思った以上に難しく、思うように授業が出来ませんでした。そんな中、中国人社員の一人から買い物に行ったときに分からないことがあると相談を受けました。そこで、私はスーパーのチラシを持参して、買い物の仕方について教えました。そのときの授業は好評で、身近なテーマで日本文化を知ってもらおうと改善しました。以後、J-POP (音楽)・映画 (アニメ)・新聞・雑誌・なぞなぞ・年賀状の作り方などを通じて日本語を学習すると同時に日本文化も知ってもらおうと心がけています。今ではこのボランティアを始めて半年が経ちますが、これからもボランティア活動を続けていきたいです。



「名古屋シティハンディマラソン」運営サポート (2008.10.19 参加)

**現代社会学科1年 南由紀さん**

初めてボランティアに参加しましたが、とても大変でした。ハンディマラソンは24回という歴史あるイベントでたくさんの方が参加されていて、ボランティアの方も大勢いらっしゃり、最初はとまどってしまい、なかなか自分から活動に参加できないときもありました。私は測量という選手の順位タイムを計測する担当でしたが、だんだん慣れていくうちに、走り終えた選手たちの生き生きとした顔を見ることができ、なんだかうれしくなりました。また、一緒に計測した高校生のボランティアの人たちとも協力することができ、自分のプラスになる活動ができたと思います。

フリースクール 運営スタッフサポート

**コミュニケーション心理学科3年 久網久美子さん**

最初はなかなか自分から話しかけることが出来ませんでした。ゲームをしながらや、パソコンを触りながら少しずつ話せるようになり、すごく楽しく活動できました。行くまでは大丈夫かな？と少し不安でしたが、また行きたいと思いました。次はもっと積極的に関わっていきたいです。これから週1でボランティアを続け、もっとみんなと仲良くなって、楽しくいろんな活動に挑戦したいです。スクールの先生が話しやすく、安心して活動できました。

コミュニケーション心理学科3年 志茂奈津美さん

初めてフリースクールという現場に行ってもすごくドキドキしました。でも、子どもたちみんなに話しかけたらニコニコ話返してくれたり会話をすごく楽しめたので、いい気持ちで時間を過ごすことが出来ました。また、職員の方々にも大変よくしていただいたので、感謝しています。



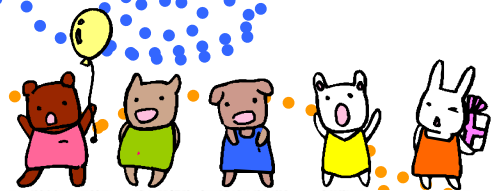
星が丘キャンパス

『第3回花＊花ふれ愛まつり』

運営サポート (2008.11.2 参加)

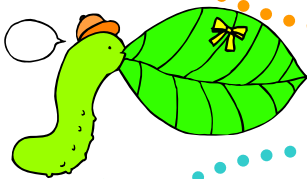
文化創造学科3年 齊藤奈穂さん

ボランティアに参加するのは初めてで少し緊張しましたが、温かく迎えられ
楽しく活動することができました。私が担当したのはわたあめ売り子で、
小学生の女の子や障がいを持った男の子と一緒にしました。私は障がいを持った
子との接し方が分からずにとまどってしまいましたが、小学生の女の子に助けら
れて、最後までトラブルもなく無事に終わることができました。健常者と
障がい者の区別をしないでふるまう女の子の姿に、とても感銘を受けました。
彼女の姿勢には学ぶことが多いと思います。



『第5回名古屋市障
がい者スポーツ大
会ボウリング競技の
部』運営サポート
(2008.11.30 参加)
福祉貢献学科2年
堀江侑帆さん

参加者の方がとても楽しんでやっていたので、私も楽しかったです。
でも、始まってすぐ、参加者同士で、ちゃんとしたテクニックがあって、どうしよう、と
すごく困りました。でもヘルパーの方がすぐ交差してくださったので、嫌なことを
忘れて楽しめるように、笑顔で話しかけるようにしました。
なかなかピンが倒せない方もいて、人によっては、「おいしい」とか言っていて、ほく
でもない人もいて、声をかけるのもいろいろと迷いました。
でも、倒れた時は、ハイタッチしたりして、全体的に楽しい雰囲気できたので
良かったです。また参加したいです。



『ワールド・コラボ・フェスタ2008』

運営サポート (2008.10.25-26 参加)

文化創造学科1年 柴田悠希さん

私は2日間 オアシス21のセミナースペースを担当しました。ここでは様々な団体による
セミナーが行われて、JICAのスタッフさんをはじめ、それぞれの団体のスタッフさん
と一緒に来場者の呼び込みや資料配布などの活動をしました。
始めは、少し緊張していたのですが、スタッフさんや周囲の方々がとても親切
に接して下さったので、私自身とても楽しく活動することができました。
また、活動の中で、自分の関心のある国際交流や国際協力の分野に携
わっている方々と直に関わることもできたのでとても良い経験になりました。
ボランティア活動は本当に「出会いの宝庫」ですね！是非また参加したいです。

国際交流会@長久手CCC 開催しました～！

2008.11.26(水)12:30～13:00

昼休み、CCC に集う様々な顔ぶれ。中国・アメリカ・イギリス・オーストラリア・ペルー・マレーシアからの留学生10名を迎えた計26名で、CCC 初の国際交流会を開催しました。

以前、海外ボランティアを体験し、私(長久手学生スタッフ伊藤)は、ボランティアを当然のこととして行うオーストラリアの人々の姿に、日本との“違い”を感じました。そこで、国と国との“ボランティア観”の違いに興味を持ったのです。また、せっかく様々な国から本大学に留学生が来ている今、外国人と交流したいと思っている学生や、彼らと英語で話したいと思っている多くの学生と、彼らを結び付けたいという思いが強くなりました。その手段として、CCC でボランティアについての意見交換を兼ねた、交流会をしたい！と思ったのです。

参加者には事前にワークシート(図1)を配り、何かしら一つの単語や絵などで、ボランティアのイメージを表現してもらいました。人あってこそそのボランティアという意味での「人」や、みんなが持つ「Love」、明るい太陽の絵、など書かれた内容は様々で、表現の違いが面白く感じられました。3つに分かれたグループは初めこそ緊張していたものの、自己紹介などを経て、それぞれのチームで和気藹々と盛り上がっていました。日本語だけでは難しい場面では、見事な通訳のサポートもあり、発見アリ！新しい出会いアリ！の、素敵な会になりました！

～参加者の声～

国ごとの相違というより、共通点を見つける結果になったが、実際にボランティア活動してみたいと思った。(文学部2年女子)すごく楽しくて、時間があっという間だった！もっとみんなの考えを聞きたいと思った。(現社3年女子)いろんな人のボランティアに対する“想い”を聞いてよかった。(言コミ3年女子)A very happy environment where people are coming together for same reason to help others.(留学生別科男子)

当日のタイム・スケジュール

- 12:30～ 海外ボランティア体験談
- 12:40～ みんなで自己紹介 Time
- 12:45～ ☆ワークシート発表☆
「私にとって、ボランティアって
こんなイメージ」
- 12:55～ 各チームの発表 Time
- 13:05～ アンケートの記入

私にとってのボランティアって、こんなイメージ☆

たとえば漢字一文字で「夢」、
たとえば英語で「LOVE」、
たとえばハートの絵でも構いません。
あなたにとって、
ボランティアってどんなイメージ？
この紙持参で、
話しましょ！

11.26
(Wed)
12:30～
13:10@
CCC



(図1)

第二弾やります！
乞うご期待！！
同時に、次回企画・運営
協力者募集中☆
詳しくはCCCへ！

	長久手キャンパス	星が丘キャンパス
開館時間	9:00～18:30 (授業日以外 9:00～17:00)	
場所	アクティブラーニングスタジオ内	1号館1階
連絡先	0561-62-4111	052-781-1151
E-mail	asccc@asu.aasa.ac.jp	